

韓国語の敬語法

言語行為、社会的活動、言語行為の基本要素、社会言語学、敬語法の等級、呼称、敬称、謙讓称、敬意の程度、人称

1. 社会言語学的様相

言語行為は基本的に社会的活動である。なぜならば言語は本質的に社会的な場面で話し手と聞き手の間との対話の形態で使用されるからである。したがって言語行為と言えば一応社会的な状況を前提にしなければならないことが分かる。このような言語行為が成立するための基本的な要素としては、話し手、聞き手、第3者、特定言語、時間、場所が挙げられる。これら六つの要素が係わって生ずるさまざまな問題が社会言語学の研究対象となる。

話し手と聞き手そして第3者が係わる敬語法の問題がそれにあたり、彼らが属した社会階層による言語使用の問題がそうであり、地域的な距離の差によって生じる方言の問題や、特定時間や場所による格式体と非格式体の使用問題もまたそうである。その他にも言語のフ話用的様相や受容性(acceptability)なども社会言語学の重要な課題と言え、発話の状況的な転換(switching)なども関心の対象となるである。

社会言語学を研究するとする場合に前提となる社会階層の区分からが難しい問題として提起されるが、社会方言的な違いは語彙以外にも発音、イントネーション、文法の違い勿論、意味範疇化の違いも現れ、より多くの研究の余地が開かれている分野でもある。

この現象は言語間にもその言語社会が異なることによって現われる。たとえば韓国語が複数を現わす時‘私たち’という代名詞を用いるが、慣用的にその意味が英語の‘we,our,us’に必ずぴったり合うように使われることはない。‘うちのご主人,私の家内’と言っても決して共有しようとの意味はなく、そのまま慣用的に‘私たち’という言葉が単数まで意味するのである。‘私の主人,私の家内’と念を押して言う言葉遣いは不自然な語感を伴うため、特別な文脈でなければこのようには表現しないのである。たいてい家庭や家族を示す時‘我家,うちの父,うちの妻’と言って単数の‘うちの,私の’を避けて、‘マイホーム’という場合は家庭よりは建物を示す意味が強まる。‘我が国’に対して英語式なら‘わが国(my country)’と言うが、そうしない慣習はすべて、これは韓国語の社会言語学的特性が作用した結果である。

2. 敬語法

韓国語は位階秩序が厳格に反映される言語である。換言すれば敬語法が厳格に区分される言語である。それだけではなく韓国語の敬語法は極めて複雑に細分化されている。恐らく敬

語法が韓国語よりさらに細分化された言語は、この世界に他にはないであろう。日本語がほとんど似たような水準であるだけで、細分化された敬語法として有名なジャバ語(Javanese)も韓国語よりはるかに単純な水準のように思われる。

代名詞

“Is this your book?” を韓国語に翻訳すると ‘your’ にあたる部分が次例文(1)のようにいくつかに分かれることが分かる。(この時文末語尾も同時に変わるのにこれに対しては後述する。)

- (1) a. これ、お前の本なの？
- b. これ、君の本か？
- c. これ、あなたの本ですか？
- d. これ、お宅の本ですか？
- e. これ、あなたさまの本ですか？

即ち英語の‘you’が相手側、即ち聞き手の身分によって、‘너, 자네, 당신, 덕, 어르신’と細分化されているのである。

この中で‘너’が友達や息子、娘や幼い子供に用いる最も低い等級の代名詞であり、その次に一段階ずつ相手側を高めて呼ぶ代名詞である。‘자네’はこの言葉を使う者が権威をもって話す雰囲気が込められた特色があり、そのためにややもすると相手の気に障るのどが‘자네’という代名詞であると要約することができるであろう。

‘당신’は夫婦の間で相互に使われる代表的な代名詞である。そして広告文や本の題名のような文では不特定の読者に対して極めて自由に‘당신’と呼ぶことができる。

- (2) a. あなたの悩みを減らして差上げます。(新聞の広告文)
- b. あなたの韓国語の力は? (本の題名)

他人との日常対話で ‘당신’を使うのは極めて注意すべきである。‘당신’が ‘너’や ‘자네’より上位等級の代名詞であることだけは明らかであるが、その敬意を高める度合いが大きいためではなく、その呼称を聞く者としては十分な待遇を得たという感じを受けられないのが一般的である。したがって‘당신’という呼称がむしろ不快感をもたらすからである。このために (3a)のような是非が実際によく起こり、またけんか版で (3b,c)の

ように恭しさの伴わない呼称として‘당신’がよく使われる。

(3) a.だれに‘貴方(당신)’って?

b.貴方のようなやつは初めてだ.

c.貴方がなんでああしろこうしろと言うのか?

以上代名詞として‘당신’が用いられる範囲はこれほどに限定されている。警察官に取り調べられるような場面ではよく用いられようが、夫婦間の呼称以外には知り合いとか、目下の人間など‘당신’はなかなかのことでは用いにくい代名詞であると言える。

‘댁’や ‘어르신’も用途がよほど制約されている代名詞である。‘어르신’は面識があるとかないとか極尊称を使う相手であれば使うのに対して、‘댁’は面識がない人にだけ使う。したがって ‘당신’よりはさらに高い等級であり、‘당신’ という呼称で誘発されるトラブルを起こす心配はないが (5)のような文が使われる状況は極めて限定されている。

(4) ここがあなたさまの席です.

(5) この犬がお宅の犬ですか?

韓国語は全体的に代名詞の使われ方が活発でないという点が一つの特徴であるとされる。3人称の場合、前の文章の名詞を代名詞で受けなければならない規則が韓国語にはない。次に例文(3)において‘누나’はそのまま‘누나’という名詞を反復するのみであり、それが代名詞化することはない。

(6) 누나(姉)は釜山で生まれた.姉が故郷である釜山を発ったことは高等学校を卒業してからであった.その後、姉は二度とは釜山へ行くことがなかった.しかし故郷に対する姉の愛情は一時も冷めたことがない.

英語であれば当然代名詞に表現され場所で名詞で使われることが韓国語では非常に一般化されている.要約すれば韓国語は 2 人称代名詞で既に敬語法が複雑に細分された様相を現わしている.辛うじて平称と敬称に両分する単純な体系ではなく、概ね 5 等級位に細分される体系を成している.

韓国語は 2 人称代名詞以外の代名詞にも敬語法の等級がある.1 人称には平称‘나(私)’以外に謙讓稱 ‘저(私)’がある.尊敬待遇を現わさなければならない聞き手の前では‘나(私)’の代わりに ‘저(私)’を使わなければならないのである.複数形にも ‘우리(私たち)’と‘저희(私ども)’の対立がある.

(7) a.お姉さん,私も行く.

- b.お父さん,私も行きます.
- (8) a.お姉さん,私たちが勝ったの.
- b.先生,私どもはこれで失礼します.

3 人称にも平称‘그(彼)’を基準として一段階ずつ高める‘그이(その人)’と‘그분(その方)’がある.近称の‘이이, 이분’及び遠称の‘저이, 저분’も同じである.しかし、これらには平称‘이’と‘저’が独立的に使われない.‘그이(その人)’は主として夫人が夫示す時に使われ、その以外にはあまり使われない.いずれにせよ相手方を少し高める役割をする.‘그분’は‘그이’よりは対象を更に高める役割をし、その使いの範囲も‘그이’より広い.しかし前に指摘したように、韓国語代名詞が活発ではない特性がここにも適用され、先行名詞を自由に受けられないという限界はある.たとえばある文章において先行する名詞‘어머님’を‘그분’で受ける事は許容されない.また昔の写真を置いて (9)のように表現できるのであるが、日常対話で近い人を‘그분’と指称する事は極めて稀である.

- (9) a.その方は私たちのお母さんです.
- b.その方は君たちの 五大祖(5 대조)のお爺さまでいらっしゃいます.

呼称

親戚ではないが面識があって名前(김민호キム・ミンホ)も分かる,そしてある会社で課長職を引き受けている男性を聞き手 (addressee) として,その呼称が‘Tom,where are you going?’の Tom の場所に使われると仮定して等級を付けた場合、韓国語の呼称はたいてい次のような 14 個等級ほどに分けられよう.(これをこれから序列表 (1)と呼ぶ事にする.)

- (1)① 課長様¹ ② 金課長様 ③ 金・ミンホさん ④ ミンホさん ⑤ ミンホ兄さん
⑥金課長 ⑦ 金さん ⑧ 金兄さん ⑨ 金君 ⑩ 金・ミンホ君
⑪ミンホ君 ⑫ 金・ミンホ ⑬ ミンホ ⑭ ミンホや

次にこれら序列に従い、一つずつ順番にその用法の特徴について調べてみることにする.

①課長様: この呼称は相手を一番高く待偶する呼称である.これは‘課長’という職に尊待を現わす接尾辞‘様’が結合した形態であるが,韓国語の呼称には‘様’が活発に使われる.‘様’は言わば平称を敬称に変える機能をする接尾辞であるが,ここで

¹ (訳者註)日本語では役職を示す単語に敬称を付して呼ぶことは一般的ではない.しかし、韓国語の敬称の等級の違いを明確化するため、ここではあえて「様」を用いている.

しばらく接尾辞‘様’について調査してみることにする。‘様’が結合する代表的な例を示すと次のとおりである。

(2)a. 兄さん/お兄さま,お姉さん/お姉さま,お兄さん/お兄さま,お父さん/お父さま,お母さん/お母さま,おばさん/おばさま,お婆さん/お婆さま,叔母(父方のおば)/叔母つま,叔母(母方)/おばさま

b. 課長/課長様,局長/局長様,長官/長官様,市長/市長様,所長/所長様,
学長/学長様,先生/先生様,博士/博士,少領/少領様,下士/下士様,
船長/船長様,技師/技師様,監督/監督様,先輩/先輩様

(2a)は親族名称に‘様’が結合した例である。親族名称の場合は‘お母さん’の場合に見られるとおり敬称の使われる方が舅姑のように限定された範囲で使われ,また‘お兄さん’の場合も年の離れた目上にものみ使うという制約がある。しかし (2b)の役職の敬称はそういう制約なしに自由に使われるのである。むしろ肩書きの場合はピョングチングの使われるに制約がある。親族名称はたいていピョングチングがそのまま呼称で使われるのに比べて肩書きの場合はピョングチングが単独で呼称で使われる事が自然ではない場合が多い。加令

(3) a.?課長,私ちょっと見て。

b.?これ課長傘か?

のような文章はぎこちない。‘様’が結合されると初めて単独でも自由に使われるようになるのだ。

②金課長様：役職の前に姓が付け加わると役職だけの時よりは尊待の等級が一段階低くなる。役職の前に姓を付け加えることは、たいていその役職を持った人が多くの人がいる場合に混同を避けるためである。‘金課長様’が‘課長様’より低い等級の呼称になるのはこのためであろう。‘課長様’は私にただあなただけという印象を受けるのに比べて‘金課長様’はあなたは多くの人の中の一人だという感じを受けるためである。

③キム・ミンホさん: これは姓名に尊待表示の‘さん’が結合した形態である。‘さん’は‘様’と似ている機能をもつ依存名詞であるが、姓や名前のような固有名詞に結合するという点が‘様’と異なる。

④ミンホさん: これは ③から姓を除いた形態の呼称である。姓が省かれて名前だけ使われるとそれだけ非格式となるので‘ミンホさん’が‘キム・ミンホさん’よ

り低い等級の呼称になることは自然な帰結である。

⑤ミンホ兄さん: ‘兄さん’は最初親族名称であったものが、ここでは親戚ではない男性にまで拡大されて使われたもので、この時の‘兄さん’は‘さん’や‘君’のような一種の肩書きの役目をすると考えてよいだろう。

⑥金課長: これは②の‘金課長’から‘様’を省いた形態の呼称である。‘様’一つが省かれることで②より⑤まで下がった訳であるが‘金課長’は同僚か目下に使う呼称であるため‘金課長様’とは相当な隔たりが生じざるを得ない。

⑦金さん: これは‘キム・ミンホさん’から名前が省かれた形態の呼称である。ところでこの呼称がこの等級に配置されていることは特別に注目を要する。⑨-⑩-⑪の公式に合わせれば⑦-③-④の順にならなければならないのであるが‘金さん’が‘ミンホさん’よりも低い等級に配置されているのである。⑨-⑩-⑪の順が一般原則に当たる正常な順だと言える。

⑧金兄さん: 前の⑤の‘ミンホ兄さん’と同じく親族名称である‘兄さん’が一種の肩書きのように使われた呼称であるがこの場合の‘兄さん’は特にその肩書き的な性格が強い。‘ミンホ兄さん’のような形式は親戚にも広く使われるのに比べて‘兄さん’の前に姓が付されたこの形式は親戚には全く用いられないためである。‘金兄さん’は同じ位の年齢の仲間にも使われるが、むしろ年差があまりくない後輩により広く使われる。後輩に使われるという点において‘ミンホ兄さん’より低い等級に分類した。

⑨~⑪ 金君/キム・ミンホ君/ミンホ君: これらは接尾辞‘さん’の代わりに‘君’が結合した呼称としてその‘君’の前に姓だけ使われたのか、名前だけ使われたのか、また姓名が共に用いられたのかによって等級は分けられる。‘君’が使われる条件は代名詞‘お前’が使われる条件と近似する。

⑫キム・ミンホ: 姓と名前をひとまとめにし呼称として使う事はあまり広く使われていない。学校で先生が学生たちを公的な場面で呼ぶ場合、主に使われる呼称だと言える。

⑬ミンホ: 姓を伴わず名前だけの呼称が一番低い等級に置かれるのは韓国語でも同様である。ただし韓国語では年が3,40歳になっても名前だけで呼ばれる機会が次第に減っている。

名前を呼称として使う時、その名前が子音で終われば終りに‘イ(ㅇ)’を一つ付け加える規則がある。例えば‘チャンシク(창식), ヨンスン(영순)’という名前であればのように規則的に‘イ(ㅇ)’が付け加えられる。この規則は名前の後に助詞を付ける時にも適用され、次の例文(5)で見るとおり名前最後に‘イ(ㅇ)’を付け加えた後に助詞を連結することになる。

- (4) a. チャンシギ(창식-이) 私をちょっと見て.
 b.これ, ヨンスニ(영순-이) 違いの?
 (5) a.今日はヨンスニ(영순-이)が一番よくするんだね.
 b.この絵ヨンスニ(영순-이)にあげるか?

⑭ミンホや: これは名前の次に呼格助詞 ‘ヤ(야)’ が付け加わった形態の呼称である。名前が子音で終わると ‘チャングシガ(창식야)’ のように ‘ア(아)’ が結合する。ところで呼格助詞が付け加えられる呼称が名前だけの呼称より一等級低くなるのはおもしろい。‘ミンホや’ はミンホが大学生ぐらいの年齢になるまでは身近な友達や親及び目上の親戚が自由に呼ぶことができる。

ただ呼称の使われる文脈が呼格助詞が使えない文脈であれば ⑬と ⑭の間の等級の違いなくならざるをえない。私たちは前の序列表 (1)を “Tom, where are you going?” の Tom の位置に呼称が使われることを仮想して作った。ところで万一呼称が使われる文脈を “これ Tom の傘だろう?” の Tom の位置で仮想すると呼格助詞の結合の可否による等級の差はなくなってしまうのである。

以上,私たちは韓国語の呼称が敬語法等級において概ね 14 段階があることを考えた。ところが

ところが現実的には韓国人はもっと複雑な世界に住んでいる。韓国語は親族名称も細分化されているのに ‘金課長’ が自分の家族や親戚であれば、それに伴ってさまざまな呼称が新たに登場するようになるのである。英語であれば uncle 一つで呼ぶのを相手によって、ある人は‘삼촌(叔父 父の兄弟)’と呼び,ある人は ‘작은아버지(叔父さん)’, ある人は ‘큰아버지(伯父さん)’,ある人は ‘당숙(堂叔 父の従兄弟)’ などと異なった言い方をするであろう。それだけではなく、単純に ‘아저씨(おじさん)’ と呼んだり ‘고모부(叔父,姨母夫)’ とも呼ぶはずであり、または ‘외삼촌(母方の叔父)’ と呼んだりもするであろう。

- 1 社会言語学的要因のために現れる韓国語の独特な表現にはどんなものがありますか?
- 2 韓国語の人称代名詞は敬語法によりどのように変わりますか?
- 3 韓国語の呼称は敬語法によりどのように変わりますか?

この時間では韓国語の敬語法について学習しました。
 これで韓国語と韓国文化の講義をすべて終了します。
 お疲れ様でした。